



児童たちが市長と意見交換



2月23日、碧水小学校6年生24人が、阿蘇市役所を訪れ、佐藤市長と阿蘇市の発展について意見交換を行いました。児童たちは、これまで一年半にわたり、地域学習（草原学習、税金の使い方、地域開発、文化遺産保護等）を積み重ねてきました。意見交換では、市長の立場になり考えた「阿蘇市は地域開発と世界文化遺産登録とでどちらを選択すべきか」というテーマが中心でした。

児童たちは、阿蘇市のことを大変よく調べ学んでおり、「将来の阿蘇市発展のため、私はこう考える」と一人ひとりがしっかり意見を持ち発言。その姿に市長は大変感心し、地域や住民を大事に思う気持ちにも感激。市長との意見交換は貴重な体験になりました。

書道で優秀な成績



▲左から、島田優依菜さん、本田涼夏さん、本田千尋さん

本田涼夏さん（阿蘇中央高校1年）
第26回全国学生書き初め展示会（毛筆の部）で見事、日本書き初め大賞を受賞。6,092人が参加する大会で、高校の部377人の中の受賞です。

本田千尋さん（阿蘇高校3年）
毎日新聞社主催第55回全国学生競書展（硬筆の部）で見事、2位にあたる大分県教育委員会を受賞しました。全国から毛筆・硬筆に1万点以上が寄せられる大会での受賞です。

島田優依菜さん（内牧小学校6年）
全国を対象にした読売新聞社主催「第32回読売学生書展」（毛筆の部）で見事、1位にあたる熊本市賞を受賞しました。

韓国の芸術団と文化交流



韓国舞踊を行う「HUIORI」（旋風）芸術団の皆さんが、福岡市で行われた公演のため来日。日本に来たからには憧れの阿蘇を観て帰りたい、そして、阿蘇市の舞踊を親しむ方々とも交流がしたいとして、3月22日、阿蘇いこいの村で日韓交流が行われました。参加したのは、藤乃瑞浩社中（伊藤 英子さんほか5名）の皆さんで、韓国舞踊に続き、「阿蘇の恋唄」など見事な日本舞踊を披露しました。最後は「大阿蘇音頭」を全員で踊り、韓国の方々大変喜ばれました。

たかなまつり 多くの来場で賑わう



第19回阿蘇たかなまつりが、3月27日、小里の畑で開催され、県内外から約400人が参加しました。特産の収穫を目玉にしたこのイベントは、若手の農業者で組織する、阿蘇市4Hクラブ（内田智也会長）を中心とする実行委員会が毎年開催しています。

田園風景に癒されながら、参加者はたかな折りやたかな漬けを楽しみ、農家手作りのだご汁を味わいました。また、初登場の「軽トラ市場」で地元の野菜を買うなど、一足早く阿蘇の春を満喫しました。